

5. 文化総合学科専門科目

1 カリキュラムの概要

文化総合学科のカリキュラムは、「現代社会」と「歴史・思想」の2つの専修からなっています。「現代社会」専修の学問領域は、異文化コミュニケーション論、法学、国際関係論、心理学などから構成されています。また、「歴史・思想」専修は、西洋史、日本史、哲学、倫理学、思想史などから構成されています。

これらの専修や学問領域は独立した「コース」ではないので、これらの専修や学問領域にまたがって、自分の履修したい科目を選ぶことができます。文化総合学科では、社会の事象や課題を分析する人文社会科学（高校での「社会科系科目」をイメージして下さい）を数多く配置しており、その中でみなさんが好きなテーマをみつけられるように設定されているのです。

4年間で卒業論文を仕上げるためには、なるべく早くテーマを見つけ、深めていく必要があります。そのために、1年次から基礎的な学問を勉強し、学問の「積み上げ」をしていかなければなりません。

2 2つの専修について

I 「現代社会」専修

現代の社会と文化について、その制度や心理を含めて多面的に研究します。また、現代社会における異文化間のコミュニケーションのあり方についても研究します。

現代の社会は制度（＝システム）として構成されており、まず、それを研究対象とします。高校でいう「政治・経済」の内容にあたる政治学・法学・経済学・社会学・心理学などの社会科学系の分野がそれに該当します。

異文化コミュニケーション論を研究するためには、相応の語学力が必要となりますから、語学学習もしっかりとおこないます。またこの研究の性質のため、特定の言語の習得とその言語を用いる国や民族の文化研究をセットにした履修を推奨します。このほか、言語以外の表現（芸術表現や映像による表現など）も研究対象となります。

II 「歴史・思想」専修

現代社会と文化をその成り立ちから理解するために、背景や基盤となっている歴史や思想について研究します。

歴史は、高校の「世界史」「日本史」に対応する「西洋史」「日本史」「東洋史」などの科目からなっています。歴史に興味のある人はこの分野を重点的に勉強することになります。しかし、日本史を研究する際にも世界のさまざまな国の歴史を知る必要があります。なお、ここには文化史や宗教史など、特定の事柄を中心とした科目もあります。

思想は、高校の「倫理」の内容に当たる「思想」「宗教」に関する科目から構成されています。具体的には、西洋の哲学、倫理学、思想、宗教を中心として、日本・中国の哲学、思想、宗教を含む古今東西の思想についての科目も用意されています。思想や宗教について深く研究したい人はこの分野を重点的に勉強することになります。他の学問分野を扱いたいと考えている人も、思想や宗教はそれら

の学問分野の基本的部分に関わってくることが多いですから、必要に応じて選択する場合もあるでしょう。

3 科目の区分と履修の心構え

文化総合学科の科目は授業の形態やレベルに応じて、以下のように区分されます。

(1) 入門科目

入門科目は講義形式の授業で、各専門分野に入るに当たって必要な入門的な知識や考え方について学びます。これらの科目はどのような専門分野に進むにしても基礎として役に立ちます。その多くは1、2年次に開講されているので、何を研究するかが決まっていなかった人や迷っている人はなるべく多くの入門科目を履修してみるとよいでしょう。

(2) 特講科目

特講科目は、一般的で基礎的な入門科目に比べて、より専門的で特殊な内容を扱います。したがって入門科目をある程度履修して自分の研究したいテーマが少しずつ絞られてきたら、そのテーマに関連した特講科目を履修することになります。これらの科目の多くは、2、3年次に開講されています。

また、特講科目を履修するためには、入門科目を履修することが望ましいです。

(3) 基礎演習

基礎演習は文化総合学科1年生を対象とした科目です。この科目は大学における学問研究の入り口として、どのように研究テーマを選んでいけばよいのか、どのように学んでいけばよいのかを身につけることを目的とします。必要な資料や文献の探し方、レポート作成や研究報告の仕方を、担当教員が具体的、個別的に指導します。教材は、原則として各担当教員の専門分野に関連したものが用いられます。

(4) 演習科目

演習科目は2、3年次に開講されている科目です。基礎演習と異なって、より専門的な内容が扱われます。卒業研究へとつながるテーマを見つけるためには2年次と3年次で連続して同じ専門分野の演習を履修することが望ましいです。しかし、自分の研究テーマが絞りきれない人は、2年次に他の専門分野の演習も履修することが可能です。

(5) 卒業研究演習

卒業研究演習は自分がこれまで学んできた成果を卒業論文にまとめるための科目です。指導を受けたい教員の卒業研究演習を履修するためには、少なくとも3年次までにその教員の演習を履修しておく必要があります。

(6) 卒業研究

卒業研究は研究の成果を論文にまとめ上げることを指します。指導教員と学科の評価を受けて単位が認められます。

(7) 他学科の科目

文学部では、原則として所属学科以外の学科専門科目を履修することができます。ただし、なかには受け入れが予定されていない科目や担当教員の許可が必要な科目もありますので、シラバスや当該学科の履修の手引きを参照して下さい。

4 科目の区分と構成・履修の流れ

以下、履修に当たっての留意点をまとめておきます。

- ① 基礎演習は文化総合学科1年生の必修科目です。前期・後期の半期科目で、自分の関心にあわせて前期と後期で別々の教員の科目を履修することになります。
- ② 演習科目は2、3年次に開講されており、それぞれの内容は異なるように構成されています。継続して履修すれば、その専門分野についてより深く学べるようになっていきます。専門分野によっては2年次の演習を履修していることが3年次の演習を履修するための条件とされる場合があります。3年次の演習はどの卒業研究演習を履修するか（どの教員のもとで卒業論文を書くのか）に関わってくるので、2年次演習を選択する際には、ある程度、卒業研究のテーマを想定しておく必要があります。ただし、教員によっては3年次演習のみの履修であっても、卒業研究演習の履修を認める場合があります。必ず2年次の演習選択時にシラバスなどで確認して下さい。
- ③ 学科が定める卒業のために必要な単位については、文学部の授業科目履修要項で確認して下さい。

5 文化総合学科の専任教員

文化総合学科所属の専任教員は以下のとおりです。

石井佑可子	准教授	社会心理学（対人距離化、メタ認知）
伊藤 明美	教授	異文化コミュニケーション論、英語教育論
上原 賢司	准教授	現代の政治理論、グローバル正義論
勝西 良典	准教授	近代哲学における諸研究
埴 浩伸	教授	社会科教育法
平井 上総	教授	日本中世史、戦国大名および織田・豊臣政権の研究
平井 孝典	准教授	図書館情報学、19世紀フィンランドにおける情報アクセス環境構築の実務
松村 良祐	准教授	中世哲学（トマス・アクィナス、ボナヴェントゥラ）、キリスト教思想
松本あづさ	准教授	日本近世史、北方史
真鶴 俊喜	教授	立憲主義をめぐる現代日本の諸問題
渡邊 浩	教授	ヨーロッパ中世史、キリスト教史

6 4年間の履修モデル

以下、卒論につながる専門分野（学科専任教員が担当する分野）について、大まかな履修モデル例を示します。

「現代社会」専修

国際関係論の履修モデル

		基盤教育科目		入門	講義	演習	その他
4年	後期					卒業研究演習	卒業研究
	前期						
3年	後期				国際関係論特講 A-d	国際関係論演習 d	
	前期				国際関係論特講 A-c	国際関係論演習 c	
2年	後期		外国語科目		国際関係論特講 A-b、国際関係論特講 B-a	国際関係論演習 b	
	前期			国際関係論特講 A-a、国際関係論特講 B-a	国際関係論演習 a		
1年	後期	キャリアデザイン I	外国語科目	国際関係論入門 政治学(国際政治学) 入門		学科の他の教員の基礎演習	
	前期	スタートアップセミナー、キリスト教概論、データサイエンス基礎 I		国際関係論		「現代社会」基礎演習 D	

「歴史・思想」専修

日本史の履修モデル

中世		基盤教育科目		入門	講義	演習	その他
4年	後期					卒業研究演習	卒業研究
	前期						
3年	後期				歴史資料論 B 歴史資料論 D	日本史演習 A-d 日本史演習 B-d	
	前期				日本史特講 A-c 日本史特講 B-c	日本史演習 A-c 日本史演習 B-c	
2年	後期		外国語科目		日本史特講 A-b 日本史特講 B-b	日本史演習 A-b 日本史演習 B-b	
	前期			日本史特講 A-a 日本史特講 B-a 日本史特講 D	日本史演習 A-a 日本史演習 B-a		
1年	後期	キャリアデザイン I	外国語科目	日本史入門 A 日本史入門 B		学科の他の教員の基礎演習(ただし、「歴史・思想」基礎演習 Cが望ましい)	
	前期	スタートアップセミナー、キリスト教概論、データサイエンス基礎 I		日本史 A 日本史 B		「歴史・思想」基礎演習 B	

近世		基盤教育科目		入門	講義	演習	その他
4年	後期					卒業研究演習	卒業研究
	前期						
3年	後期				歴史資料論 B 歴史資料論 D	日本史演習 A-d 日本史演習 B-d	
	前期				日本史特講 A-c 日本史特講 B-c	日本史演習 A-c 日本史演習 B-c	
2年	後期		外国語科目		日本史特講 A-b 日本史特講 B-b 日本史特講 C-b	日本史演習 A-b 日本史演習 B-b	
	前期			日本史特講 A-a 日本史特講 B-a 日本史特講 C-a	日本史演習 A-a 日本史演習 B-a		
1年	後期	キャリアデザイン I	外国語科目	日本史入門 A 日本史入門 B		学科の他の教員の基礎演習(ただし、「歴史・思想」基礎演習 Bが望ましい)	
	前期	スタートアップセミナー、キリスト教概論、データサイエンス基礎 I		日本史 A 日本史 B		「歴史・思想」基礎演習 C	